

シリーズ「見守り活動紹介」④

— 第六小学校、松中小学校、西砂小学校 —



第六小学校

第六小学校は、羽衣町第1班と第2班が担当しています。両班合わせて1日平均10名程度が参加しています。

羽衣町第1班と第2班の会員数は合計で72名、活動参加人数は約30名で、1日平均10名が参加しています。

平成31年度までは付き添い方式で自宅まで見送りしていましたが、令和2年度以降はコロナ禍の影響もあり、定点見守りに変更し、学校との話し合いで学校周辺の4ヶ所を重点に通学路の主要交差点など8ヶ所を見守り場所に設定しています。

活動は、1学期は毎日、2学期以降は週3日の活動としていて、参加者へは毎月20日頃までに参加希望日を記入する文書を配付し、25日頃役員が集約し、見守り活動参加者の一覧表と配置表を作成して参加者全員に配付しています。

最近が高齢の会員も増えていきますので、できるだけ参加者の自宅に近い場所で見守りができるように配置場所を設定しています。

第六小学校の通学路は、スーパーが2店舗あり、またバス通りで交通量も多くなっています。特に交差点での事故防止に注意し、「お帰り、気をつけて!」とひと声かけています。



〔班長からひとこと〕

第1班班長

以前は、子どもたちと一緒に下校するのが楽しみでしたが、今は定点見守りとなり多少寂しくもあります。でも、駅で「シルバーさん、見守り活動続けられていますか、がんばってください。」と高校生から挨拶され、子どもときの印象は全く思い出せませんが感激し

ました。見守り活動をこれからも続けたいと思います。

第2班班長

コロナ禍により、従来のように学校に皆さんで集まることもなくなり、お話しする機会も少なく、この場をお借りして、参加者の皆様にお礼を申し上げます。

皆さん就業しながらの参加で大変でしょうが、私たちのベストを見て住民の方々から「ありがとう!」と声をかけていただくこともあり、地域のためにも少しずつですがお役にたっているのではないのでしょうか。毎年参加者が減ってきており、私たちの活動を見て、ひとりでも多くの参加者が増えてくれると嬉しいです。今後とも会員皆様のご協力をお願いいたします。

松中小学校

松中小学校は、一番町・西砂町第1班(一番町1～3丁目)・第2班(4・5丁目)・第3班(6丁目)が担当しています。第1班はそのほかに第九小と大山小を担当し、第3班は西砂小も担当しています。

活動には、3班合わせて多い時には約20名が参加して、なかにはほぼ毎日参加している方も数名いらっしゃいます。現在は、5ヶ所の交差点での見守りと5つのコースのパトロールで実施していて、自分の健康状態で担当を選んでいただいています。参加者は開始と終了後の集合場所を同じ場



—昨年12月の活動体験日の集合写真



所とし、パトロールが安全にできたことを確認しています。

松中小学校の周辺は五日市街道などの幹線道路、またそこから派生する住宅地の路地も多く、車や自転車の通行にも注意が必要となっています。

参加者の中には高齢の方も多いため、体調が悪そうな方がいないかなど目を配り、決して無理をしないようにしていただいています。

会員の方たちとの雑談の中では、「家にいてもつまらない」、「話し相手がいない」、「運動不足だから」等々参加の理由もさまざまです。またご家族からは「主人が見守りに参加してからとても明るくなった」、「友達や仲間ができた喜んで」、「主人に視野が広がった」、「見守りに参加することで生きがいを感じているようだ」など感謝の言葉をいただくことも少なくありません。



〔班長からひとこと〕

第 1 班副班長

日頃から見守り活動に参加していただいている皆様に感謝申し上げます。

交通量の多い通学路での 1 年生の見守りにはかなり神経を使います。学校との定期的な懇談の場を持つなど、より安全に見守り活動を行っていったらと思っています。

第 2 班班長

子どもの安全を見守ることはもちろんのことですが、会員それぞれが目的を持って心や気持ちにゆとりが出てくることは、違った面での意義ある見守り活動になるのではと考えます。オレンジのベストが少しでも抑止効果になれるようがんばっていきたくと思います。

第 3 班班長

参加していただいている方には大変ご苦労をおかけしています。見守りを今後も長く続けていくには、健康であることが一番です。皆さん

には体調管理を十分にいただき、無理せずに参加していただきたいと思っています。また、参加できる日には気分転換を図るためにも、より多くの方に参加していただきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

西砂小学校

西砂小学校は、一番町・西砂町第 3 班(一番町 6 丁目)と第 4 班(西砂町全域)が担当しています。

3 班から 8 名、4 班から 15 名が活動に参加していて、1 日の平均参加人数は 8~10 名で、なかには毎月 17~20 日とほぼ毎日参加している方も数名いらっしゃいます。

西砂小学校は、年々新入学児童が増加しており、現在、市内で児童数が最も多い小学校です。また、西砂町は中央を五日市街道が東西に展開しており、約半数の児童が交通量の多い街道を登下校時に横断しています。そのため、交差点や横断歩道では、児童と車の接触など事故への緊張が高まります。定点での見守りに加え、児童の帰宅方向に同道する会員もいて、その途中の会話も楽しみとなっています。



毎年 3 月には、1 年生から見守り活動感謝のお手紙、上級生からは家庭科実習の作品をいただいています。



〔班長からひとこと〕

日頃から見守り活動に参加していただいている皆様に感謝申し上げます。

西砂町は、立川市で面積が最も大きい町で、住宅や人口が増加傾向にあり、児童数も増加しています。

さまざまな方向に帰る子どもたちをしっかりと見守るためにも、より多くの方に見守り活動に参加していただきたいと願っています。

皆様のご理解とご参加をよろしくお願いいたします。